（別紙4（2））

事業所名　グループホーム　ドレミ

目標達成計画書

作成日：平成　26　年　01月　14　日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	会議は、2ヶ月毎に現在まで40回開催し、内容や参加委員も、固定化してきているので、会議の内容について検討し、ホーム運営に反映させる取り組みに繋げていく。	会議のメンバーを有識者や知見者、地域等から、増員し、リフレッシュして、ホーム運営に反映出来る体制の中で、報告会に終わらず、外部の目を通して、新鮮な意見や提案をして貰い、研修や講演等取り入れ、参加委員にとって実りのある会議にしていく。	12ヶ月
2	51	日常的な外出の支援	外出し、利用者が戸外の風に触れることが気分転換と、生きがいに繋がることは理解しているが、外出するための、職員の勤務体制が、十分でないので、現在の体制で出来る外出の支援を検討していく。	利用者の外出の支援は、職員のやる気と、協力がなければ継続出来ないので、職員の意識改革と、外出を手伝ってもらえるボランティアの養成を実施していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。